

2013年12月11日

## 「ヤクルト環境保全キャンペーン」を実施し、 公益財団法人オイスカの「子供の森」計画に寄付

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、今年6月に19回目となるグループ全従事者向けの「ヤクルト環境保全キャンペーン」を実施し、キャンペーンの一環として公益財団法人オイスカ<sup>\*1</sup>の「子供の森」計画<sup>\*2</sup>に29万円を寄付しました。公益財団法人オイスカへの寄付は、2008年から続けており、今回で5度目となります。

今年度のキャンペーンは、『考えてますか？ エコロジー』～あなたの川柳でエコへの想いを発信しよう～をテーマに、グループ従事者から、従事者自身が環境保全活動を推進するための「ヤクルト環境川柳」を募集しました。その結果、11,493件の応募があり、その中から最優秀賞1件、各部門賞4件を選出し、その作品を記載したポスターを全事業所に掲示して、従事者の環境保全意識の啓発に活用しました。

さらに、応募のあった川柳1件あたり25円として、応募数に応じた29万円を、公益財団法人オイスカの「子供の森」計画活動資金として寄付します。また川柳募集に加えて、昨年につき、ヤクルトグループとして「グリーンウェイブ 2013<sup>\*3</sup>」に参加し、全国15か所で植樹を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者一人ひとりに環境教育を徹底し、環境保全意識の向上に取り組んでいくとともに、社会貢献意識の啓発を図っていきたいと考えています。

なお、今年度の「環境保全キャンペーン」の概要は以下のとおりです。

### 記

#### <2013年度「ヤクルト環境保全キャンペーン」の概要>

1. 名 称：「考えてますか？ エコロジー」  
～あなたの川柳でエコへの想いを発信しよう～
2. 期 間：2013年6月1日～6月30日（1か月間）
3. 対 象：ヤクルトグループ全従事者
4. 実 施 内 容
  - (1) 環境川柳の募集  
11,493件の応募の中から、下記の作品を最優秀賞に選出しました。  
「いい国の 次はいい星 目指そうか」
  - (2) オイスカ「子供の森」計画への寄付
    - ①寄付金額：29万円
    - ②算出方法：応募のあった環境川柳1件あたり25円として応募数11,493件に応じて算出しました。
  - (3) 企業としての「グリーンウェイブ2013」への参加
    - ①東京都国立市との「植樹」に関する協働活動
    - ②グループ内工場（14工場）で「植樹」を実施

※1：公益財団法人オイスカは、アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人事育成、緑化運動を推進している国際NGOです。

- ※2 : 「子供の森」計画は、子供たち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。1991年に始まったこの活動は、32の国・地域の4,601の学校で実施されています（2013年3月末現在）。
  
- ※3 : 「グリーンウェイブ2013」は国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）の現地時間午前10時に各国の企業、学校、市民が植樹等を行う地球規模のキャンペーンのことで、国連が呼び掛けをして、日本では環境省、農林水産省、国土交通省も参加を推奨しています。

以上